

広報 かるまい 4

平成26年（2014年） No.661



今月の主な内容

- 町内3中学校、1小学校が閉校 …… 2～5
- 町長・教育委員長施政方針 …… 6～11



小軽米中学校で学び育った生徒たちの歌声が会場に響き渡りました



上) 会場には思い出の写真や当時の生徒が作成した新聞が展示されていました
右) 伝統芸能の伊勢音頭を披露する生徒



小軽米中学校（菊池克幸校長、生徒35人）の閉校式は3月21日に同校の体育館で開かれました。当日は60

熱心な英語教育 伝統の継承

小軽米中学校

学校DATE
■創立 昭和22年
■生徒数 35人
■卒業生 3217人

歩ほどの積雪だったものの、地域一体となった除雪作業で予定時刻から遅れながらも開催。式典には、全校生徒35人のほか、保護者や卒業生、地域住民ら、約200人が参加しました。戸草内勝夫教育委員長による告示が行われた後、山本町長に校旗が返納されました。菊池校長は「最後の1年間は、本校の締めくくりを地域の皆さんに見てもらうため、頑張ってくれました。4月から前を向き新たな歴史を創り出してほしい」と生徒らを激励しました。生徒会長の沢田涼明くん（2年）は「学び育った母校がなくなってしまうのは寂しいが、新たな時代のための第1歩。小軽米中の伝統と誇りは『新

軽米中』に静かに息づいていく」と別れの言葉を述べました。式典後の思い出を語る会には、卒業生や地域の方など約100人が参加。旧職員や卒業生による思い出のスピーチが行われた他、地域とともに取り組んできた小軽米えんぶりや伊勢音頭を生徒らが披露。参加者からは惜しみない拍手が送られました。同校は昭和22年に創立。5つの校訓「自律・協調・勤労・創造・躍進」を胸に、教育活動に取り組んできました。特に英語教育が活発で、平成18年度には

掲ぐ五つの信条は
われらのゆくての、途しるべ
仰げ蒼天 さわやかに
高く明るき 希望わく
とわに香わし わが学校
めぐらす山の 裾遠く
流れて田並に うち漕ぐ
雪谷川面に 影映えて
とわに香わし わが学校

小軽米中学校歌

作詞 砂子彦三郎
作曲 生内義夫

英語教育優良校として、文部科学大臣賞を受賞しました。また、地域住民とともに取り組んだ、小軽米えんぶりや伊勢音頭などの郷土芸能にも積極的に取り組んできました。これまでに3217人の卒業生を輩出してきました。4月から在校生は軽米中へと進みます。

一地域とともに育った 3中学校と1小学校 その歴史と伝統に幕一

本年3月で閉校となった小軽米中学校、晴山中学校、笹渡小中学校。地域とともに育ったそれぞれの学校で、3月21日から23日にかけて閉校式と思い出を語る会が開催されました。地域住民のほか、卒業生など多くの人が駆けつけ、母校に最後の別れを告げました。それぞれの学校の伝統を引き継ぎ児童・生徒たちは新たな歴史の一步を歩みだしました。3校の閉校式の様子を紹介します。

「最後の1年を、最高の1年に、最後の新しい入生を迎えた平成25年度の入式で私は『全員で心をひとつにして、みんなで力を合わせて、最後の1年を最高の1年にしよう』と話しました。生徒たちはそれにしっかりと応えてくれました。体育祭や文化祭などの節目の行事では、一生懸命に輝いてくれました。また、伝統として取り組んできた郷土芸能も県中学校文化祭において、県民会館の大きなステージ上で、全校生徒で発表することができました。とても充実した「最後の1年」は「最高の1年」であったと思います。結びに、関係機関や地域、保護者の皆さん、そして歴史の主人公であった生徒、卒業生に感謝します。



菊池克幸 校長

「晴中魂よ 永遠に」67年間の歴史を振り返ると、部活動や各種大会で数多くの好成績を残し、その快挙は本校だけでなく地域の誇りであったと思います。また、山内神楽や観音林から太鼓、高家えんぶりなどの伝承活動、長く続けられてきた雑穀栽培など、地域に根ざした多くの活動も忘れることはできません。最後の体育祭や晴中祭では、生徒全員が各自の役割をしっかりと果たし、また学校公開では心のこもった実践を披露するなど、先輩たちに恥じることもない、充実した1年でした。終わりに本校を慈しみ育ててくださったいきました地域や町、関係者の方々の支援に敬意と感謝の意を表します。



吉田 覚 校長

「夢のような 温かな教育」私は、今から10年前に研修で、本校を訪れたことがあります。山の中にある赤い屋根の校舎の中小併設校。そこで行われていた教育は小中どちらも暖かく、教師と地域が一体となり、一人ひとりの児童生徒の心地よい育成を実現していました。こんな夢のような温かい学校があるんだ。子どもたちにとって最高の環境だと感じていました。そしてその思いは、2年前に赴任してきた時に確信に変わりました。大自然の中で一緒に学び、過ごしてきたことは、永遠に忘れられない思い出として輝いています。4月からそれぞれの学校で新たな歴史を力強く築いていくことを期待しています。



中田隆一 校長

晴山中学校

永遠に受け継がれる『晴中魂』

晴山中学校吉田寛校長
生徒56人の閉校式は3月22日、午前10時から同校の体育館で開かれました。式

典には、全校生徒のほか、保護者や卒業生、地域住民ら、約300人が参加しました。



上) 参加者全員で最後の校歌を元気に歌いました
左) 校歌は同校OBのプラスバンドによる演奏に合わせて合唱しました



式典後の思い出を語る会に、卒業生や地域住民など約120人が参

閉校後、軽米中に進む生徒に対し吉田校長は「郷土芸能や雑穀栽培体験など、地域に根ざした活動を行ってきた学校だった。これからも『晴中魂』が永遠に続くことを信じている」と激励の言葉を述べました。前生徒会長の山仁隆司くん(3年Ⅱ当時)は晴山中での思い出を語るとともに「地域に愛されてきたこの晴山中で培った力を糧にさらに前進していきたい」とこれからの活躍を誓い、出席者全員で校歌を歌い母校に別れを告げました。

県教育表彰を受賞しました。また、卓球部など部活動も活発で、これまで数多くの栄冠を手にしてきました。67年の歴史の中で4390人の卒業生を輩出。4月から在校生は軽米中に進み、受け継がれてきた晴中魂を胸に新たな伝統を築いていきます。



部活動が活発な同校は、過去に多くの表彰を受けてきました

晴山中校歌

作詞 鈴木丈夫
作曲 竹田伊三郎

朝日に 映える 折爪の
山容 豊かに 示せるは
世代を 担う 若人だ
心の 強き 者になろう
これぞ伝統 われらが樹てん
永遠に 流れる 瀬月内
清き 教えの よどみなく
世代を 担う 若人だ
心正しき 者になろう
これぞ伝統 われら学ばん
空に 澄み渡る 晴山の
地に 満つ 菊の 花香る
世代を 担う 若人だ
心明るき 者になろう
これぞ伝統 われらがなさん

笹渡小中学校

地域が一体となった温かな教育活動

学校DATE	： 笹渡小学校	： 笹渡中学校
創 立	： 明治9年	： 昭和27年
児童・生徒数	： 25人	： 13人
卒業生	： 1462人	： 1037人



上) 閉校式で、記念碑の除幕式が行われ、校舎の歴史を記す写真が展示された。下) 校旗を返納する中田校長

笹渡小中学校(中田隆一校長、児童25人、生徒13人)の閉校式は3月23日、午前10時から同校の体育館で開かれました。式典には、全校児童・生徒のほか、保護者や卒業生、地域住民ら、約200人が参加しました。

児童らは別れの言葉と歌を披露、学校や地域への感謝の気持ちや、新しい学校での活躍を元気に誓いました。式典後の思い出を語る会には、約100人が参加。生徒たちは勇壮な笹渡清流太鼓を披露しました。その力強い音色は会場に集まった参加者の胸に響き渡りました。

同校は明治9年に創立。地域と連携した学校教育を柱とし、小規模校であることを生かした全員参加型の教育に取り組みできました。特に、読書活動に力を入れ、昭和48年に創刊された笹渡の読書活動の記録を掲載した文集「しらかば」がいわて文集まつり最優秀賞を受賞したほか、平成24年度には、子どもの読書活動実践校として文部科学大臣表彰を受賞しました。137年の歴史の中で、児童1462人、生徒1037人の卒業生を輩出しました。4月から在校生は、それぞれ軽米小学校と軽米中学校に進みます。

同校の長きに渡る歴史の中で、培われた地域に根ざした教育活動は、さらにその範囲を広げ、新たな学校でも、温かな学校を創りあげていくでしょう。



思い出を語る会では、生徒らが笹渡清流太鼓を披露

笹渡中学校校歌

作詞 坂本俊巳
作曲 橋村衛

緑織りなす 山なみを
朝な夕なに 仰ぎつつ
切り拓きたる この里に
今こそわれら 手をとりて
自由の花を 開かせん
飛ぶ白雲に 夢のせて
大地に強く たくましく
日に新しき 道をゆく
今こそわれら 手を取りて
真理の花を 開かせん
笹渡の 丘高く
希望に燃ゆる 学び舎に
若き生命を みがきつつ
今こそわれら 手をとりて
理想の花を 開かせん

笹渡小学校校歌

作詞 粒針秀郎
作曲 飯岡和夫

久慈平岳の 峰遠く
湧く白雲を 眺めつつ
白亜に映える 学び舎で
希望に燃える わたしたち
強く明るく 生きてゆく
清き流れに 影映し
大地ふかける 虹あおぎ
励むばかり 学び舎で
幸楽く 日々を わたしたち
強く明るく 生きてゆく
岩手の峡を きり拓く
憩いの里に 夢がきこ
こころを 学び舎で
鍛えるばかり わたしたち
強く明るく 生きてゆく

-町長 施政方針-



町議会3月定例会が2月27日に開かれ、施政方針演述で山本賢一町長は「新軽米町総合発展計画の将来像である『豊かな自然の恵みと彩り、歴史と食文化の薫るにぎわいのまち』の創造に向け、町民との協働を基本としながら、いきいきと輝き、快適で安心して暮らすことのできるまちづくりを推進する」と決意を述べました。本年度の主な施策、事業などについてお知らせします。

豊かな暮らしを支えるまちづくり

【原子力事故損害賠償】
東京電力の福島原子力発電所事故に起因する損害賠償については、県と関係市町村で、原子力損害賠償紛争解決センターへの和解あつせん申し立てを決定しました。

【公共交通対策】

ダイヤの見直しによる増便、中心街を運行するまちなか線やまちなかインター線の運行、バス停の新設、一部区間での電話予約による運行の試行など、町民の皆様が利用しやすいよう取り組みます。

【防災対策】

豪雪時等への対応・体制を強化していくため、新たな除雪機械の導入や町内建設業者等との協定締結など除雪体制の強化を図ります。また、消防活動の拠点となる二戸消防署軽米分署の建築、災害時要援護者システムの充実を図ります。

【町道整備・橋梁維持】

町道緑ヶ丘桜山線、赤石峠小玉川線道路改良舗装工事、

本年度より工事へ着手する町道焼切万谷線、下新町住宅線、上平線道路改良舗装工事、また、2016いわて国体の競技会場へのアクセス道路の町道運台野勘工線、軽米高家線道路改良舗装工事、さらに、歩行者の安全を確保するため、町道萩田一線、岩崎外川目線、観音林前谷地線歩道整備工事を進めるとともに、町道円子墓地線、呟屋敷線、みそころばし竹谷袋線、上野場名川線の4路線につい

ては、測量設計および分筆登記用地買収を進めます。また、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高家橋、大清水橋の修繕工事を進めます。【住環境・上下水道】耐震診断や耐震改修工事の助成や住宅リフォーム奨励事業により、住環境の整備を支援します。また、上下水道については、向川原地区の管路布設工事と舗装本復旧工事を進め、老朽化の著しい軽米簡易水道施設は、国庫補助事業を導入し、新配水池への送水管および配水管布設工事等を進めます。

結いの精神のまちづくり

【行政区活動交付金等】
行政区活動交付金および地域活動支援事業費補助金は、地域の自主的・主体的活動を支援することを目的とした制度ですが、補助金については、各地域からの関心も高いことから、26年度からは、より利用しやすいよう旧小学校

区や隣接行政区との共同事業などができるよう制度の見直しを図りつつ、運用します。【ユイコのケアドー事業】
ユイコのケアドー事業については、今後とも取り組みをする行政区や地域団体の活動を支援します。

高齢者もいきいき暮らすまちづくり

【国民健康保険】

厳しい財政運営状況の中、25年度の決算収支を慎重に見極め、歳入不足の補填には一般会計からの法定外繰入による財政運営を進めます。

【後期高齢者医療】

26年度は保険料率の改定時期であり、被保険者の増加に伴う医療給付費の増加傾向が続く中、財政安定化基金を活用し保険料率の引き上げ幅をできる限り小さくして被保険者の負担を抑制しながら制度を運営します。

【障がい者福祉】

25年度から施行された「障害者総合支援法」に基づき、障がい者および障がい児が、自立した社会生活を営むことが出来るように、障害福祉サービスや補装具の給付とともに地域生活支援事業による相談支援および日常生活用具の給付を行います。

【高齢者福祉】

地域包括支援センターが中心となり、関係機関・団体と

連携しながら高齢者施策の充実を図ります。また、高齢者のニーズに対応した敏速な支援を図るため、気軽に相談できる窓口として、地域包括支援センターおよび社会福祉協議会内に設置した「地域包括支援センタープランチ」を有効に組み合わせ、今後とも連携しながら総合相談窓口業務を行います。

【介護予防活動】

65歳以上の全町民を対象に基本チェックリストを実施し、2次予防対象者には、介護予防教室を開催します。また、1次予防事業では、地域と協働で、ふれあい共食事業や認知症サポーター養成講座などを開催し、介護予防に積極的に取り組めるよう活動を広めます。

町独自のサービスとして一人暮らし高齢者見守り事業、配食サービス、おむつ支給事業、通所による介護予防事業についても継続実施します。

【保健事業】

特定保健指導については、メタ防クラブの他、健診受診率、保健指導実施率のアップに向けて取り組みます。

予防接種事業については、肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン、子宮頸がんワクチンを全額公費負担で、インフルエンザワクチンや風しん予防接種は、一部公費負担で実施します。

子育て支援日本一のまちづくり

【母子保健事業】

出産までの妊婦健診14回分を全額公費負担とし、生後4カ月までの全戸訪問、乳幼児健診、育児・幼児教室など育児支援の充実を図ります。

【地域子育て支援事業】

27年度に施行される子ども・子育て支援法に伴い、当町の今後の子ども・子育てに係る目指す将来像とその実現に向けた施策を示す「軽米町子ども・子育て支援事業計画」の策定を進めます。



軽米産の食材を使った食育活動に取り組んでいます

また、ピヨピヨ広場や延長保育、児童クラブを継続して実施します。

【保育園等】

常設保育園での2人目以降の保育料原則無料化、保育料の引き下げ、おやつ代の町負担を継続実施します。また、晴山地区常設保育園は、27年度から利用できるよう、工事発注等を進めます。

【学校関係】

軽米小学校の旧校舎等を解体し、跡地にグラウンドを整

備します。また、県事業を導入し、小軽米小学校と晴山小学校、軽米中学校に太陽光発電設備を増設します。児童生徒の学力向上については、学力向上支援員の配置や長期休業中における中学生の学習会などのほか、特別支援員も継続的に配置します。学校給食費の補助については、継続実施します。

【いわて国体】

いわて国体・軟式野球競技の開催については、町の実行委員会の発足や野球場の整備を進め、2年半と迫っている国体を成功させるための準備を進めます。

豊かな自然と美しい景観のまちづくり

【環境衛生】

清潔で住みよい町づくりのため、クリーンアップ事業を継続実施します。

また、地域における3R運動（減量化・再利用化・再資源化）を進めるとともに、より一層の減量化に努め、廃棄物の適正処理を推進します。

生ゴミの処理を促進するため、家庭用生ゴミ処理機およびコンポストの購入費補助事業を継続実施します。

家庭用生ゴミとプラスチック製容器包装の分別収集については本格実施を見据えながら、期間を1年間に延長して実施します。また古着回収事



家庭で生ごみの水切りをお願いするなどごみの減量化に取り組んでいます

業についても、引き続き実施する予定です。

資源を活かした地域産業のまちづくり

【水稲】

米政策の見直しに対応した飼料用米の取り組みについて、農家の皆様から正しく理解していただくため、十分な説明の場を設けるとともに、関係機関と連携し、適切に対応します。

【園芸振興】

新技術の導入等により栽培技術の向上、担い手の確保・育成、産地力の強化を図り、多様化するニーズに対応した流通販売体制を推進します。葉たばこの立枯病対策については、関係機関と連携した防除体制を確立し、安定生産および品質向上を図ります。

【畜産振興】

肉用牛の資質向上を通じた肉用牛生産基盤の強化を目的

に、繁殖雌牛の導入貸付を実施するとともに、飼養管理における低コスト化や担い手農家の規模拡大を推進するため、町営牧野の効率的な利用に取り組めます。

酪農、馬産振興については、乳用初妊牛導入対策および優良基礎雌馬留対策等を講じ、飼養頭数および戸数の減少に歯止めをかけ、生産力の向上を図ります。また、中小家畜の振興については、国や県の価格保証制度に、町としても助成し、中小家畜の維持と安定的発展を図ります。

【日本型直接支払制度】

農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動を支援するため、日本型直接支払制度が26年度から始

行います。

【雇用対策】

国の雇用創出基金事業を活用した緊急雇用創出事業により、就業機会の確保と雇用の創出を図ります。

また、町内における新規求職者等の地元雇用を促進し、雇用の場の確保・拡大を図るため、地域雇用促進奨励金制度を継続実施します。

【再生可能エネルギー】

民間事業者による鶏糞バイオマス発電や太陽光発電については、積極的に支援し、再生可能エネルギーの町を目指します。

多様な交流が生まれるまちづくり

【観光】

本年度の軽米秋まつりは、9月13日から15日までの3日間開催することが決定され、町の活性化が図られるような盛大な秋まつりが開催されるものと期待しています。

雪谷川ダムフォリストパーク・軽米で開催している森と水とチューリップフェスティ

バルについては、品種の球根の更新などにより、5月の大型連休の開花を目指しながら、イベント内容の検証を行うとともに、本年度は新たな取り組みとして、シバザクラやチューリップを生かしたウオーキング大会を開催し、「花のまち軽米」を積極的にアピールしながら誘客促進を

図ります。また、シバザクラの見事な景観を町内外にアピールするため、施設活用も含め、体育協会の各競技団体との協働により、パークゴルフや野球のほか、各種スポーツ大会等を開催し、交流人口の拡大に努めます。さらに、春から夏にかけての集客に向けての観光資源として期待されるアジサイ散策路の拡大に努めます。



グリーンデーでの植樹活動で子どもたちは森林愛護の精神を学びます

まります。この制度は、農地維持支払と資源向上支払からなる多面的機能支払、中山間地域等直接支払および環境保全型農業直接支援に区分されます。現行の制度から円滑に移行できるよう、説明会等を開催します。また、中山間地域等直接支払や環境保全型農業直接支援対策に取り組む農業者に対しても、引き続き指導助言していきます。

【新規就農・経営継承総合支援】

青年就農給付金事業について、更に周知を図るとともに、地区及び関係機関からの情報提供により、新規就農者を発掘し、経営開始に向けた取り組みを支援します。

県事業の中山間地域総合整

備事業、大清水地区については圃場整備の補完工事および換地業務、農道整備では上新井田線が実施予定です。また、基幹農道整備事業「震主地区」では、測量・用地買収・工事が順次行われる予定です。

【林業関係】

第31回を迎えるグリーンデーは、軽米小学校の新校舎の落成記念として、町内の小学生や一般ボランティアの参加による植樹祭を開催します。

森林整備地域活動支援交付金事業については、森林経営計画の作成を促進し、森林施業の集約化を図ります。

また、木炭・しいたけ生産者や森林組合等との連携を図

当初予算

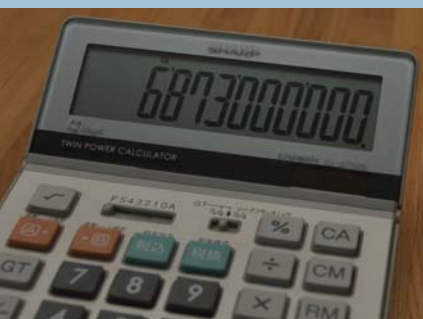
豊かで安心、魅力ある地域の創造に向け

平成26年度も地方交付税など、主要な歳入の増額は期待できず、財政状況は依然として厳しい状況に変わりないと見込んでいます。

予算編成にあたっては、財政環境を踏まえ、歳入では、町税収入の確保や適正な受益者負担をお願いしながら自主財源の確保に努め、歳出では、総人件費の抑制、費用対効果の検証による事務事業の見直しなど、歳入に見合う歳出の抑制を基本とした健全財政の取り組みを強化しながら、豊かで安心して生活できる魅力ある地域社会の創造に向けて、身近な社会資本の整備や子育て支援をはじめとする地域福祉の向上、学校教育環境の充実などを基本に予算編成に取り組みしました。

本年度の当初予算は
68億7300万円

平成26年度一般会計当初



教育委員長施政方針

2月27日の町議会定例会の教育行政方針演述で戸草内勝夫教育委員長は「教育基本法の理念をもとに、国・県の動向を十分に踏まえ、現在策定中の軽米町教育振興基本計画の初年度として、教育行政の一層の推進に努めていきたい」と決意を述べました。本年度の主な施策、事業などについてお知らせします。

◆学校教育の充実について

【幼児教育の充実】

預かり保育や給食の実施など、子育て支援の充実と幼児一元化を目指した特色ある幼稚園づくりに努めます。

【学力向上】

個に応じたきめ細かな指導に努め、授業改善研修会や学力向上先進校視察の開催や学習支援員等の配置、中学生を対象とした長期休暇中の特別学習会など、幅広い取り組みを進めます。

また中高生の英語検定料助成事業を継続し、中高連携した英語力向上を図ります。

【特別支援教育の充実】

関係機関と連携を図りながら、様々な障がいのある児童に努め、個々へのきめ細かな指導・支援計画を作成するとともに、特別支援員の配置などにより適切な支援体制の確立に努めます。

【教員研修の充実】

授業改善研修会、教務主任

研修やICT活用授業研究会等を実施します。

【道徳教育の充実】

道徳の時間を充実させ、道徳の実践力の育成に努め、また岩手県が進めている復興教育と連携し、ボランティア活動など実践的な取り組みを進めます。

【健康教育の充実】

児童生徒、教職員の検診を継続するとともに、小中学校の給食費の助成や食育の推進を図るため、軽米産の食材を提供していきます。

【環境教育の充実】

学校給食における牛乳パツクリサイクル運動を継続実施するとともに、太陽光発電など自然エネルギー活用の学習

やこみ分別・再利用など、家庭や地域と連携しながら、体験活動を通じた学習の展開に取り組みます。

【キャリア教育の推進】

職場体験を通じて、自分の将来を考える機会となるよう職業観の醸成に努めます。また、実施にあたっては、各校に担当教員を配置するとともに、町キャリア教育推進協議会と連動のもと進めます。

【国際理解教育の推進】

小・中学校へ英語指導助手の配置を継続し、コミュニケーション能力の向上と国際理解を深めるとともに、中高生への中高生海外派遣事業などグローバルに活躍できる人材の育成に努めます。

【情報教育の推進】

教育用コンピュータソフトのサポート期間終了に伴い、コンピュータ機器の更新を行うとともに、ICT教育講習会の充実を図ります。また、情報モラルに関する教育は、家庭や関係機関との連携を図り、実態に即した指導を努めます。

【適応指導の充実】

生徒指導体制の一層の充実を図るため、生徒指導研修会や学校警察連絡協議会、生徒



子どもたちのすこやかな

成長を支援します

指導連絡協議会を開催するとともに教育相談やスクールカウンセラーを有効活用し、教育相談体制を確立します。

【地域に開かれた学校づくり】

目標達成型の学校経営を推進するため、学校評議員からの外部評価による教育活動の改善を図るなど、保護者や地域と連携・協働する学校づくりに努めます。

【学校統合】

学校統合により閉校した3校の校舎の活用については、継続して地域の方々の意見をいただきながら、よりよい活用方法を見出します。

【学校施設・設備の充実】

軽米小学校の旧校舎を解体し、グラウンドの完成を目指します。また、再生可能エネルギーなどを導入し、太陽光発電設備の増設と蓄電併設照明を整備するとともに、軽米

中学校グラウンドの防球ネットの整備を進めます。

◆生涯学習のまちづくり

【生涯学習の充実】

協働・参画による生涯学習のまちづくりを進め、関係機関との連携を密にし、住民誰もがいつでも、どこでも主体的に学習できる環境づくりを整え、学習成果を適切に生かす社会の実現に努めます。

◆社会教育の推進

【国庫委託事業】

国庫委託事業の「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」を導入し、家庭教育支援や放課後子ども教室、学校支援などの事業を展開します。

【家庭教育支援】

子どもを持つ親を対象に、子どもの発達段階に応じた子

育て、しつけ、食育などに関する家庭教育学級や各種講座を開設し、家庭や地域の教育力の向上を図ります。

【放課後子ども教室】

安全・安心な子供の活動拠点を設け、地域の方々と協力をしていただき、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等に取り組みます。

【学校支援】

小中学校の学校図書館支援を行っています。

◆公民館、図書館運営

【中央公民館運営】

町の学習拠点施設として、地域住民のニーズに対応した学習講座や研修会などに利用しやすい施設運営に努めます。

【図書館運営】

利用者のサービス向上を図るとともに、図書館機能の充実に努めます。

◆生涯スポーツの推進

【スポーツ活動の活性化】

町民誰もがスポーツに親しみながら、体力の向上を図り、健康的な生活を送ることができるよう各各種スポーツ



活動への参加機会の拡大を図ります。

【スポーツ施設】

いわて国体の軟式野球競技を開催するにあたり、会場となるハートフル・スポーツランドの野球場のスコアボードやグラウンドの大規模改修を実施し、施設の整備を推進するとともに、いわて国体軽米町実行委員会を設立し、開催準備を進めます。

【芝桜の植栽】

本年度も住民との協働により実施し、芝桜の開花時期には、体育協会の各競技団体と連携し、芝桜スポーツフェスティバルを開催します。

◆文化の振興

【芸術文化の振興】

個性豊かな地域文化を創造するため、町民の意欲的な文化活動を促進し、町民文化祭の作品展示会などを通して、町民の創作活動を奨励します。

【文化遺産の保存と伝承】

文化遺産の保存と伝承については、町内に多く存在する貴重な文化財を計画的に調査・発掘し、有効な保護と記録保存に努めます。

◆教育振興運動の推進

教育振興運動は岩手県独自の教育運動として教育水準の向上を目指し、子ども、親、教師、地域社会、教育行政の連携のもとで、自主的な運動として展開され、50周年の節目を迎えます。

学校統合後の教育振興運動のあり方が重要課題となっておりながら、各実践区において地域づくりを基盤に据えた住民運動として推進し、地域の教育力の向上を図ります。



施政方針を述べる
戸草内教育委員長



荊谷 太基（荊敷山、24歳）

町民生活課 主事補

福田 丈幸（上円子、18歳）

早く仕事を覚え、育てていただいた
軽米町に恩返しができるように頑張り
ます。



産業振興課 主事補

明岡 寿（鶴飼、18歳）

自分が今まで学んできたこと、そしてこれから学ぶことを活かして、軽米町に貢献できるように頑張ります。



教育委員会事務局 主事補

古里 結美(觀音林北、22歲)

先輩方から多くのことを学び、日々成長していきたいです。元気に明るく頑張っていきます。



健康福祉課 保健師

瀧澤さやか（仲軽米、23歳）

町民の方一人ひとりとのお出合いを大切に、軽米町がより健康になるように一生懸命頑張りたいです。



輕米保育園 保育士

目山 侑香(向川原、22歳)

早く仕事に慣れ、子どもたちのよい理解者となれるよう頑張っていきたい
と思います。



小軽米保育園 保育士

大内蔵由貴子(観音林東、24歳)

明るく、元気に！をモットーに子どもたちと一緒に日々頑張っていきたいと思っています。



平成26年度

＜平成26年4月1日発令＞

主査	吉岡芳幸
主事	鎌戸和則
主任主査	玉館透
※水道事業所職員を併任	
教育委員会事務局	
教育次長	工藤光政
教育総務グループ	
◎次長補佐	小林浩
指導主事	佐々木健一
主査	外山充
主査	於本博之
主任	寺地亜紀子
主任	千葉久司
主事	山下博之

	運動手	古館義明
	生涯学習グループ	
	次長補佐	堀米豊樹
	◎主任主査	大清水一敬
	主任主査	藤田直行
	主任兼学芸員	大川訓寿
	主事	関内哲志
	主事	奥上結美
☆主事補	古閑若木	
●町立図書館・軽米中央公民館 館長	工藤光政	
主任主査	大西昇	
●軽米幼稚園		
園長代理	古館孝子	
教諭	山仁江利子	
教諭	平彩香	

- 学校用務員
輕米中 藤嶋百合子
- 【退職者】 敬称略
(平成26年3月31日付)
- 君成田隆 (町民生活課長)
- 横島悦子 (健康福祉課)
- 櫻場栄子 (健康福祉課)
- 中村正志 (教育次長)
- 横島益男 (教育総務担当主幹)
- 君成田美代子 (小軽米保育園)
- 村井浩和 (総務課)

田中良一副町長が

3月31日に退任



田中良一副町長が体調不良を理由に平成26年3月31日付で退任されました。

田中副町長は昭和43年4月に町職員として採用され、町農林業員会事務局長、農林課長、総務課長を歴任。平成19年4月からは、副町長として7年間務められ、町勢の発展に尽力されました。

町役場組織と職員配置 (敬称略)

太字は課長級職、◎はグループ長、☆は新採用、①は併任、②は兼務、③は再任用、色付氏名は異動・昇格者

総務課	
課長	野中 勲
企画担当主幹	平 俊彦
企画グループ	
◎主任主査	畑中幸夫
主事	小笠原信也
主事	山館さくら
主事	山田のぞみ
運転手	工藤 剛
用務員	田中裕子
総務グループ	
◎主任主査	松山 篤
主任主査	角田貴浩
主査	古舘寿徳
主査	輪達ひろか
主事	大村亮憲
☆主事補	苅谷太基
◎主任主査	中村利見
総務課付	
(山田村派遣)	外山和寿
(二戸地区広域行政事務組合派遣)	
(岩手県後期高齢者広域連合派遣)	小笠原隆人
	山下善昭
(再) 野田村派遣	齋藤 崇
選挙管理委員会事務局	
併事務局長	野中 勲
書記	輪達ひろか
税務会計課	
会計管理者兼課長	山田 元
会計担当主幹	佐藤暢芳

課長補佐	課税グループ	川原木祐子
	主任主査	小笠原達夫
主任主査	主任主査	日山一則
	主事補	小野寺史寛
主任主査	収納グループ	梅木勝彦
	主任主査	橋場光雄
主事	会計グループ	川島幸徳
	主任主査	梅木勝彦
主査		竹澤泰司
町民生活課		
課長		
町民生活担当主幹		
課長補佐	総合窓口グループ	川原木純二
	主任主査	小笠原亨
主事補	主任主査	小林千鶴子
	主事補	紫葉千賀子
☆主事補		日山菜穂美
		福田文幸
町民生活グループ	主任主査	福田浩司
	主任主査	工藤洋子
主査	主査	鶴岡紀子
	主査	上村利広
主事		藤原華香
●小軽米出張所		
●晴山出張所	主任主査	江刺家高
	主任主査	
●健康ふれあいセンター		
●所長	主任主査	小笠原邦之
中里早苗		

支庁グループ・居宅介護
 ◎所長補佐 松浦近子
 主任社会福祉士 山田里美
 主事 小野寺悟
 介護福祉士 外川愛子
 介護福祉士 杉浦謙二
 生活相談員 梅木久美子

健康福祉課
 課長 中里早苗
 福祉グループ
 ◎課長補佐 山本幸子
 主査 野中孝博
 主査 関岡孝行
 主事 加藤美紀
 主事 小野寺蘭子
 主査 中野とき
 健康づくりグループ
 ◎主査室長 藤田美枝子
 主任看護師 工藤英子
 保健師長 日向安子
 主事 玉留博一
 保健師 中里祥子
 ☆保健師 櫻澤さやか
 (再)保健師 池田包括支援センター
 主査看護師 内城良子
 主任看護師 下谷地由美子
 社会福祉士 十文字沙織
 保健師 八幡美紀

●軽米保育園
 園長 佐々木久
 園長代理 大村真理子
 上席主査室長 大内蔵良子

課長 担当主幹	日山 充	於本一則
産業振興課	※監査委員事務局を併任	
	鶴飼義信	
◎主任主査	高橋良春	
	橋本邦子	
主査	鶴飼義信	
議会議事事務局	君成田美代子	
再保育士	長坂佐知子	
館長	安藤京子	
●観音林児童館	上席主任児童厚生員	
●笹渡保育園	園長 内澤典子	
●山内保育園	園長 石川敦子	
☆保育士	調理師 平船シズエ	
☆保育士	滝沢暢子	
☆保育士	坂本麻衣子	
上席主保育士	川崎裕生	
園長代理	野中恵美子	
●小幡米保育園	新井田一徳	
☆保育士	調理師 新井田直子	
☆保育士	古川 唯	
☆保育士	金田奈々	
☆保育士	増尾祐子	
主任保育士	清水水恵	
主任保育士	檀澤順子	
上席保育士	中村留美	
上席保育士	下斗米敏	
上席保育士	小村留美	

課長	兼田 英明	農政企画グループ		課長補佐	坂下 浩志
		農政企画グループ			
主任主査	坂本 修	紫葉優樹	神久保忠蔵	農林振興グループ	農政企画グループ
主査	明岡 寿	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主事	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主査	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主事	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主査	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主事	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主査	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主事	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主査	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主事	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主査	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主事	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主査	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主事	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主査	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主事	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主査	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主事	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主査	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主事	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主査	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主事	福島貴浩	菅原里枝	寺地隆之	主事	主事
主査					



町消防団の歴史を後世に伝えたいと話す山館団長



町消防団の100年以上の歴史が詰まった一冊が完成しました

町消防団（山館松五郎団長）は、100年以上の歴史を持つ、町消防団の歴史を記録した軽米町消防団百年史を作成しました。明治42年に旧軽米村で発足した消防組から現在までの記録を写真や年表などで振り返っています。

3月30日には発行を記念した祝賀会が開催され、消防関係者ら約120人が参加。山館団長は「地域を守る消防魂を後世に伝えたい」と思い百年史を作成しました。これからも、先人が築いた歴史と伝統を引き継いでいきたい」と話していました。

祝賀会では軽米ソーラン愛好会のメンバーがお祝いに駆けつけ、華やかな踊りで会場に花を添えました。

軽米町消防団百年史を作成

地域を守る消防の

100年の歴史を記録

表彰者（敬称略）

★消防庁長官表彰

【永年勤続功労章】小野寺祐治（副団長）

★岩手県知事表彰

【功績章】高柳恒雄（分団長）

鶴飼利幸（分団長）

下谷地敦雄（分団長）

日山政俊（副団長）

★日本消防協会会長表彰

【精績章】小野寺祐治（副団長）

山野下信夫（分団長）

【勤続章】佐藤榮一（分団長）

山田一夫（団員）

小野寺甥作（団員）

来迎悟（団員）

★岩手県消防協会会長表彰

【功労章】小野寺徹（分団長）

【功績章】下谷地敦雄（分団長）

澤田晶（部長）

平林和代司（部長）

【内助功労】小笠原幸子（分団長令夫人）

高橋あけみ（分団長令夫人）

【優良協力隊員】

新井田洋子（小軽米地区隊員）

山野下洋子（山内地区副隊長）

消防活動に貢献した 功労者17人が受賞

岩手県消防定例表彰式が3月13日に盛岡市の市民文化ホールで開催され、町からは消防団員や婦人消防協力隊員など、長年にわたり消防活動に貢献した功労者17人に表彰状と記念品が贈られました。



受賞の報告に山本町長のもとを訪れた消防団員ら

平成26年度から

後期高齢者医療保険料が変わります

ポイント1 保険料率が改定されます

後期高齢者医療制度では、財政運営期間が2年間になっています。この期間の医療費の財源に充てるため、平成26～27年度の保険料率を右のとおり改正します。

平成24・25年度の保険料率		平成26・27年度の保険料率	
均等割額	35,800円	均等割額	38,000円
所得割率	6.62%	所得割率	7.36%

岩手県の後期高齢者一人あたりの平均保険料	
平成24・25年度	平成26・27年度
37,705円	40,115円

ポイント2 軽減が拡大されます

●均等割額の5割軽減の対象者が拡大

これまで、被保険者が世帯主で世帯にほかの被保険者がいない場合、均等割額の5割軽減は適用されませんでした。所得金額に応じて適用されることになります。また、均等割額の5割軽減が適用される基準が変更され、これまで2割軽減を受けていた方でも5割軽減になる場合があり、より保険料負担が軽くなります。

●均等割額の2割軽減の対象者が拡大

均等割額の2割軽減が適用される基準が変更され、軽減を受けられる対象所得金額が拡大されます。例えば、夫婦2人世帯で共に被保険者の場合、2割軽減を受けられる対象所得金額が、これまでの103万円以下から123万円以下に拡大となります。

保険料の計算方法

保険料は、広域連合が定めた保険料率をもとに、被保険者全員が個人単位で納めます。

保険料は、被保険者が等しく負担する「均等割額」と被保険者の所得に応じて決まる「所得割額」の合計となります。

$$\text{保険料} = \text{均等割額} + \text{所得割額}$$

(100円未満切り捨て) 38,000円 (被保険者の所得) × 7.36%

※所得割額の算定に係る被保険者の所得は「基礎控除後の税所得金額等」を基準とします。

賦課限度額が
引き上げられます

賦課限度額とは、保険料の一年間の上限金額です。
平成26年度の保険料から、現在の55万円から57万円に引き上げられます。

【問い合わせ先】

岩手県後期高齢者医療広域連合事務局（☎019-606-7500）

町民生活課・町民生活グループ（☎46-4734）

※7月の保険料の決定通知の際にも、再度内容についてお知らせさせていただきます。

平成26年度の 保険料額について

26年度の保険料は、25年中の所得の状況に基づいて、平成26年7月に決定します。現在、年金から保険料が天引きされている特別徴収の方の、4・6・8月に支給される年金から天引きされる保険料は、25年度の保険料額をもとに計算した仮の金額になっています。26年度の保険料が決まったのち、既に天引きされた額を差し引いて、残りの保険料を10月以降におさめいただく仕組みになっています。詳しくは、町から7月中旬に届く通知書をご確認ください。

◆皆さんの地域の話や情報をお待ちしています。
総務課広報担当（☎46-2111・内線206）までご連絡ください



山本町長に受賞の報告に訪れた兼田さん

保護司活動に大臣感謝状

兼田一雄さんに法務大臣感謝状

2月27日に盛岡法務合同庁舎で感謝状伝達式が行われ、兼田一雄さんが法務大臣感謝状を受けました。兼田さんは平成12年に保護司を始められ、平成26年まで保護対象者の更生など、社会を明るくする活動に尽力しました。3月12日に町長訪問をした兼田さんは「少しでも更生の手助けができればという思いで14年間努めさせていただきましました」と話していました。

自衛隊新入隊員が決意報告

新入隊員が町長訪問

4月から自衛隊に入隊予定の軽高生が3月4日、町長を訪問し、入隊後の決意を述べました。入隊するのは（写真左から）新井田剛志くん、鶴飼雄大くん、獅子内冬威くん。それぞれ、「国を守るしっかりと自衛隊になりたい（新井田）」、「いままでの自分を変えて、頼れる自衛隊になりたい（鶴飼）」、「目標はパイロット。難しい目標ですが、頑張りたい（獅子内）」と話していました。



4月から国を守る自衛隊としての活躍を誓った高校生の皆さん

八戸ラピアで軽米の観光と物産をPR

軽米町観光と物産キャンペーン

観光と物産キャンペーン（町観光協会主催）が3月8日と9日、八戸市のショッピングセンターラピア内で開催されました。町内の業者や食の団体が参加した物産展には雑穀やさるなしを使った町の特産品、木炭や味噌、醤油などが並べられ、多くの来場者が集まり、買い物を楽しんでいた。

この日は新たに生まれ変わったヒエボンが登場。さらに愛くるしい姿となったヒエボンは、かるんと一緒に軽米町の観光と物産をアピールしました。また、9日には笹渡星流太鼓の皆さんが駆けつけ、迫力のあるステージ発表を披露し、会場を盛り上げていました。

毎年恒例のチューリップ苗のプレゼントでは山本賢一町長も参加し、一人ひとりに苗を手渡ししながら、4月下旬から始まる「森と水とチューリップフェスティバル」をPRしました。



（写真上）軽米町の特産品が並んだ物産コーナー。来場者に自慢の品をPRしました。



（写真右）可愛らしく生まれ変わったヒエボン。一生懸命に軽米町を宣伝してきました。

思いやりの車いすを寄贈

小軽米小が車椅子を寄贈

小軽米小学校は3月4日、同校で行っている空き缶回収の収益金で購入した車椅子1台を、デイサービスセンターせせらぎに寄贈しました。環境ボランティア委員長の畑林秀くんは「学校や家庭で呼びかけて18,510個のアルミ缶を集めました。大切に使用してください」と施設を運営する特定非営利法人清流の江刺家兵太郎理事長に車椅子を手渡しました。



環境ボランティア委員会の皆さんと江刺家理事長（右から2人目）

読書好きの子供たちに表彰

町読書のつどい

町読書のつどい（町教育委員会・町立図書館主催）が3月2日、中央公民館で開催されました。読書活動を推進するリーダーとして全7回の講座を受講した7人の児童に



表彰状を受け取る受賞者

子ども司書講座の認定証が授与されたほか、読書感想文・感想画コンクール表彰式では、各部門の入賞者の名前が読み上げられ表彰状が手渡されました。表彰式後には盛岡大学短期大学部岩崎基次准教授と学生による影絵人形劇が行われ、参加者らは物語の魅力に引き込まれていました。

子ども司書の認定者とコンクールの表彰者は次のとおりです。（学校・学年は受賞当時、敬称略）

■子ども司書

工藤にちか（軽米小5年）、板橋雅（笹渡小4年）
百鳥あかね（笹渡小4年）、板橋茉那香（笹渡小4年）、長者森あかり（晴山小6年）、君成田優生（晴山小4年）

■読書感想画部門

〈小学校1・2年の部〉最優秀賞：小林千星良（軽米小1年）優秀賞：内澤明未（軽米小2年）

■読書感想文部門（敬称略）

〈小学校3・4年の部〉最優秀賞：田澤健太（小軽米小3年）優秀賞：日向由咲（軽米小4年）〈小学校5・6年の部〉最優秀賞：西館米夢（晴山小6年）優秀賞：増尾舞（小軽米小5年）〈中学校の部〉最優秀賞：一條豊樹（笹渡中2年）優秀賞：西館亜美（軽米中3年）

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

おとふけ食のフォーラム2014が総合福祉センターで開かれました。音更の食や農業について講演があったほか、音更の農産物キャラクター「おおそで君」が登場し、寺山町長から音更の食育・地産地消を広める伝道師として任命書を受け取りました。



おおそで君のお披露目

■夢・希望・えんぴつ■



小軽米小学校 4年
松本 結愛 さん
(米 田)

わたしは、今年で10歳になりました。20歳の成人式まで、ちょうど半分。一つの節目をむかえました。そこで、今までの自分とこれからの自分について考えてみました。

小さいころは、大きな病気もせず、保育園にも休まずに毎日通っていたそうです。おっとりな性格は、今も変わらなれどお母さんが教えてくれました。

わたしの将来の夢は、マンガ家になることです。初めて「マンガ家になりたい」と思ったのは、2年生のころでした。おじさんにももらったマンガを読んでみたら「あつお

10歳の自分を見つめて

もしもいつか」と思ったことがきっかけです。こんなマンガを描いてみたいと思うようになり、イラストを描くことも好きです。家族のイラストを描いて見せると、とても喜んでくれるので、「もっと描こう」という気持ちになります。

そんな家族の笑顔を見て、大きな目標ができました。それは、わたしの描いたマンガで、多くの人を楽しませることです。わたしの描いたマンガを読んで、みんなが笑顔になってくれるようなマンガ家を目指してがんばりたいと思います。

Q、今の職業をやってみて？
職員同士のコミュニケーションがとれており、話し合いで目標を決めるなど、いい環境だと思います。

Q、趣味や休日に行うことは？
野球が趣味で、会社の野球部にも所属しています。また、先輩の誘いでスノーボードを始めました。今後は登山なんかも



けん と
石田 紬士 さん
(19歳、八戸市)
身長165センチ、てんびん座
ブライフーズ 第一プロイラー

やってみたいですね。

Q、あなたの夢は？
家に露天風呂をつくることです。できたら親にも入ってほしいです。

Q、町をどう思いますか？
きれいな川が印象的。古い街並みもいいですね。

▼好きなスポーツ：野球、スノーボード、プロレス

▼好きな食べ物：寿司

▼好きな映画：ハリウッドもの

▼今欲しいもの：車

▼今の悩みは：通勤が1時間くらいかかるのが大変です。

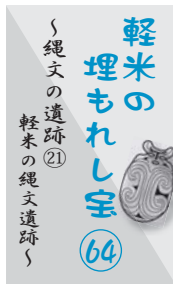
▼理想の異性のタイプ：思いやりのある、うそをつかない人。有名な日本テレビの水戸麻美アナウンサー。

今月の俳句（北光吟社2月例会）

軽トラも雪に埋もれて三日間
雪掻きの家々なりの流儀かな
蝉しぐれ唄う笑顔や新年会
除雪車の行き交う通り日脚伸び
感動のなみだ幾度か冬五輪
腰丈もある春雪の置き場なく
雪解けや友との別れ多くなり
陽に向い笑い走るや雪解水
日のぬくみ多き窓辺に日向ぼこ

三上 千栄女
川崎 郁子
千葉 紅園
松村 英子
丹下 美恵子
中野 とき子
川島 由蔵
中田 紀子
早川 慶子

※町文化協会「北光吟社」の例会より俳句を紹介しています



軽米町の縄文遺跡分布図（濃い色塗り遺跡の登録範囲（岩手県道跡情報検索システムより作成））

遺跡（埋蔵文化財包蔵地ともいう）の登録は、土器や石器、鉄滓などが出土するという伝承や実際に発見出来る所、地形や立地から館跡などと推定される所を特定し、地表面で推定されるおおよその範囲を括弧で示しています。

軽米町教育委員会では、平成8～12年度に「詳細遺跡分布調査」を行い、町内中の耕作されている田や畑、沢筋などに落ちている遺物を探し、遺跡がありそうな場所を隈無く歩いて調査しました。

その後も追加登録を重ね、平成26年4月現在では521箇所の登録遺跡があります。このうち411箇所が縄文遺跡（他の時代との複合遺跡含む）で、全体のおよそ80%弱を占めるほど、縄文遺跡の数と範囲は際立っています（下図参照）。

調査成果を分析してみると、これまで数多くの遺跡を紹介した雪谷川下流部の河岸段丘面や山間部

の長倉地区、軽米町中心部北側の大日向遺跡群、そして高家地区、晴山地区の緩やかな丘陵部、山内地区から九戸村にかけての折爪岳東麓に数多く見られ、町西部に集中しています。一方、雪谷川中流、上流部の小軽米地区や上館地区、円子地区では非常に少ないという傾向が見えます。

しかし、当町は総面積の約75%を山林が占めているため、まだ気づかれていない遺跡も数多く埋もれているものと推定されます。

軽米は「縄文遺跡の宝庫」です。まだ発掘調査をしていない場所は数多くありますし、今後新しい遺跡や貴重な遺物がどんどん発見されるかも知れません。

これからも埋蔵文化財の保護にご協力をお願いいたします。（教育委員会学芸員 藤田直行）

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所 (☎46-2004)

～入学期の交通事故防止～

入学・入園を迎えた子どもは、行動範囲が広がりと周りのものが目にいらなくなり予測できない行動をとる場合があります。注意が必要です。

《保護者の皆さんへ》

■通学路の確認…子どもの通学路を確認し、危険な箇所を子どもの目線の高さで点検して、安全な歩き方を指導しましょう。

■安全指導のポイント…車は急に止まれないことを教え、飛び出しの危険性を理解させましょう。

■大人が手本を見せましょう…子どもは大人の行動をまねします。自らが交通ルールを守り手本を見せましょう。

《ドライバーの皆さんへ》

◆子どもが見えたら速度を落として…子どもは視野が狭く予測不能な行動をとります。とにかく

速度を落としましょう。

◆通学路では速度を落として…通学路は決まっており、既に把握されていると思います。新入生もあり通学になっていないことから、速度を落として走行しましょう。

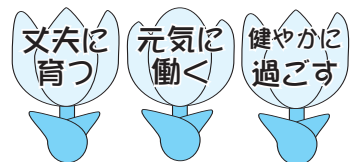
2月の事故と救急の数字

▶町内の交通事故、救急車出動回数

	当月	累計	昨年比
人身事故	2件	3件	+2
死亡者	0人	0人	±0
負傷者	3人	4人	+4
物損事故	22件	41件	+4
救急車出動回数	39回	75回	-3

※(累計)は1月からの合計です。見直しにより前月の数値と異なる場合があります

▶2月の飲酒運転検挙者はありません



健康福祉課 (☎46-4111)

病気などで予防接種を受けられなかった方へ

予防接種法改正により、長期間療養が必要な病気にかかったなどの理由で定期予防接種を受ける時期をのがした方が、対象年齢でなくても接種を受けられるようになりました。接種のためには国が定めた次の理由によってやむを得ず予防接種を受けられなかったこと、この病気や状態が落ちついて、受けられるようになったことを証明する主治医の意見書が必要です。



■次の①～③の病気により接種をのがした方■

①重症複合免疫不全症、無ガンマーグロブリン血

症、その他免疫機能に支障を生じさせる病気

②白血病、再生不良性貧血、重症筋無力症、若年リウマチ、全身性エリテマトーデス、潰瘍性大腸炎、ネフローゼ症候群、その他免疫を抑制する治療を必要とする病気

③①または②の病気に準ずると認められるもの

また、臓器移植後の免疫機能

を抑える治療のため、医学的理由で①～③に準ずると認められることから接種時期をのがした方も対象となります。

該当すると思われる方は健康福祉課(健康ふれあいセンター内)へお問い合わせください。



健康福祉課
保健師長
日向 安子

軽米病院だより

岩手県立軽米病院 (☎46-2411)

少子高齢化の時代

2025年は団塊の世代が次々に75歳以上の後期高齢者になります。2030年には5人に1人、2055年には4人に1人が75歳以上になると予測されています。これまで国を支えてきた団塊の世代が給付を受ける側に回るため、医療、介護、福祉サービスへの需要が高まり、社会保障財政のバランスが崩れると指摘されています。これを2025年問題といえます。

この4月から軽米町の中学校が1つになったことからわかるように少子化が進んでいます。地方から大都市への人口流出が進み、このままでは地方が消滅すると予測する人も

います。

このような状況に合わせて今後医療機関も変化を迫られると思われます。市町村単位ではなく広い圏域の中で、人口の動きを踏まえてどういう機能の医療機関がいくつ必要か判定され、それに沿って医療機関の再編成が起こればある程度の集約は避けられず、人口密度の低い岩手では患者さんの移動距離は長くなるかもしれません。

医療の変化にも注目していただきたいと思っています。

(院長 横島 孝雄)

図書館だより

町立図書館 (☎46-4333)

図書館利用案内

日時: 4月26日(土) 10:00 ~ 11:00 対象: 幼児
場所: 図書館となりの蔵 小学校低学年

－今月の新刊－

【児童書】

なぜのでんわ

作・絵/いもとようこ



(金の星社)

山の上にある一台の電話。今日も誰かがやってきました。線のつながっていないその電話で、大切な人と話をするために…。岩手県大槌町にある「風の電話」をもとにした絵本です。

心にひびくマンガの名言 ①心が強くなる



(学研教育出版)

人生を豊かにしてくれる人気マンガの名言を、あらすじや豆知識といっしょに紹介するシリーズ。1巻には「ONE PIECE」「ブラック・ジャック」「のだめカンタービレ」などを収録。

【一般書】

キャラ弁つくっちゃお!

momoさん直伝のご当地&季節キャラ



ラティック社

とってもキュートなキャラ弁にチャレンジ! ご当地キャラ弁 20 種と、季節のオリジナルキャラ弁 29 種のレシピを紹介します。便利に使えるすまおかずのレシピも充実。

迫りくる自分



(光文社)

著/似鳥鶏

俺は二人いる。悪いのはもう一人の奴なんだ!! 本田理司と顔も声も瓜二つの男。やがて二人は偶然に再会し、世にも不条理な最悪の逃走劇が幕を開ける…。

4月 April

16	水	
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	まちの相談会【物産交流館】
23	水	
24	木	
25	金	古着回収【旧晴高小】7:00～8:00、11:00～13:00
26	土	図書館ひろば【図】10:00～
27	日	
28	月	
29	火	【昭和の日】 ハートフルスポーツランド杯中学校サッカー大会【ハ】
30	水	

5月 May

1	木	
2	金	
3	土	【憲法記念日】 森と水とチューリップフェスティバル（～5/18）【イベント日】
4	日	【みどりの日】
5	月	【こどもの日】 森と水とチューリップフェスティバル【イベント日】
6	火	【振替休日】
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	

（カレンダー中の【 】は開催場所で下記のとおり表示します）
 体・町民体育館 環・農村環境改善センター 公・中央公民館
 図・町立図書館 病・県立軽米病院 ふ・健康ふれあいセンター
 老・老人福祉センター プ・雪谷川ダムフォレストパーク・軽米
 ミ・ミレットパーク 歴・歴史民俗資料館 ハ・ハートフル・ス
 ポーツランド 運・町営運動場 ゲ・ゲートボール場

スナッフ写真館

笹渡小中学校で最後の奉仕活動
（3月2日）



笹渡小中学校で行われた閉校前最後の奉仕活動

お知らせ
情報
Information

九戸政実市民文士劇
キャスト・スタッフ募集

天下に喧嘩を売った男“九戸政実”を劇的に描いた小説「天を衝く」（高橋克彦著）を原作に市民文士劇を上演します。高橋克彦さん等と共に舞台を輝かせていただけるキャスト・スタッフを募集します。

■開催日：10月5日（日）

■場 所：二戸市民文化会館大ホール

■募集内容：キャスト・スタッフ

（美術・大道具・小道具・照明・音響・衣装・化粧）

■応募資格：二戸市・軽米町・九戸村・一戸町にお住まいの方
（ただし小学校5年生以上）

■募集締切：5月7日（水）

【応募・問い合わせ先】二戸市民文化会館（☎23-7111）
または二戸地域振興センター（☎23-9201）

内科(9:00～17:00) 休日当番医 歯科(9:00～12:00)

いちのへ内科クリニック (☎33-2701)	一戸町 高善寺	4月20日（日）	こしみず歯科クリニック (☎33-4618)	一戸町 一戸
齋藤産婦人科医院 (☎22-2251)	二戸市 石切所	27日（日）	渡辺歯科医院 (☎23-2052)	二戸市 堀野
小原内科医院 (☎23-3410)	二戸市 石切所	29日（火）	森川歯科医院 (☎23-6361)	二戸市 堀野
ふくもりたこどもクリ ニック (☎43-3137)	一戸町 一戸	5月3日（土）	ムカイタ歯科クリニック (☎46-4636)	軽米町 蓮台野
藤田内科 (☎38-2772)	二戸市 浄法寺	4日（日）	奥中山高原歯科クリニッ ク (☎35-2951)	一戸町 奥中山
二戸クリニック (☎25-5770)	二戸市 石切所	5日（月）	窪島歯科医院 (☎23-2425)	二戸市 福岡
すがわら消化器内科 (☎23-2879)	二戸市 福岡	6日（火）	ほんだ歯科クリニック (☎23-9591)	二戸市 石切所
金田一診療所 (☎27-2205)	二戸市 金田一	11日（日）	宮沢歯科医院 (☎46-2953)	軽米町 元屋町



児童生徒や地域住民、教職員と一緒に
なつての大掃除



いままでお世話になった校舎に感謝し
隔々まできれいにしました



最後は飲み物を配ってご苦労様！

東北財務局盛岡財務事務所
多重債務相談窓口のご案内

東北財務局盛岡財務事務所では、自らの収入で返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの方々からの相談に応じています。相談は秘密厳守・無料です。お気軽にご相談ください。

■相談専用電話番号：

☎019-622-1637

■時間：月～金曜日（祝日、年末年始除く）の
8:30～17:15

■所在地：盛岡市内丸7-25
盛岡合同庁舎4階

軽米町パークゴルフ場

4月22日に営業開始！

冬期間の積雪により、休止しておりました軽米町パークゴルフ場の営業を4月22日（火）に開始します。体力づくりや仲間づくりにぜひパークゴルフをお楽しみください。

【問い合わせ先】

パークゴルフ場スタートハウス（46-3889）
教育委員会・生涯学習グループ
（46-4744）

25周年記念イベント

ご注文3万円以上の方に

さるなしの雫プレゼント！

お膳・折詰・弁当
お気軽にご要望ください

☎46-3680

あじさい
味彩

もっと知ろう
みんなの国民年金

学生納付特例制度

20歳以上の方は、学生であっても国民年金に加入し保険料を納めることになります。

しかし、学生の方は所得が少ない等の理由で国民年金保険料を納めることが経済的に困難な場合があるため、納付が猶予される『学生納付特例制度』があります。

対象となる方は、大学等（修学年限1年以上である課程）に在学する20歳以上の方で、ご本人の前年所得が一定額以下であることが条件です。

〈所得のめやす〉

118万円＋〔扶養親族等の数×38万円〕

学生納付特例の承認期間は4月から翌年3月までとなります。

※詳しくは、二戸年金事務所（☎23-4111）、国民年金保険料専用ダイヤル（☎0570-011-050）にお問い合わせください。

広報かるまいへの広告掲載者を募集

広報かるまいでは、町内業者などからの広告を募集しています。

広告掲載料：4,000円/月
（6カ月以上掲載の場合は3,000円/月）

詳しくは、下記までお問い合わせください。
（問）役場総務課企画グループ（☎46-2111）



冠婚葬祭 2月分 ＜敬称略＞

おめでた () 内は父母の名

下新町 古里 香奈 (誠・智恵子)

沢田 兼田 榮太 (翔太・亜希子)

おしあわせに

{ 兼平 卓也 (八幡平市)
新井田 真弓 (上河南)

おくやみ () 内は享年

河北 小野寺 忠雄 (56歳)

下晴山 早川 ユリ (76歳)

屋敷 白藤 スエノ (98歳)

蓮台野 佐々木 忠雄 (84歳)

沢田 兼田 江利子 (56歳)

荒町 田澤 ミナ (81歳)

下門子下組 坂本 節男 (71歳)

上尾田 中里 ヨシ (97歳)

蛇口 川口 ヨシノ (69歳)

高家 田代 嘉重郎 (94歳)

君成 田山 根ツワ (82歳)

※お名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。

●人の動き ＜平成26年2月28日現在／町民生活課調べ＞

男 4,956人(－5) / 女 5,222人(－7)

合計 10,178人(－12) / 世帯数 3,785(－1)
※() は前月比

転入 15人(32人) / 転出 16人(28人)

出生 3人(6人) / 死亡 14人(36人)

※() は1月からの累計



灯籠の温かな光が会場を照らしました

震災から3年、絆の灯籠350個

東日本大震災から3年が経過した3月11日、町グラウンドゴルフ協会のメンバーが交流のあった三陸地域の協会の犠牲者を追悼するため、町防災センターの敷地内に灯籠を設置しました。「3.11絆忘れない」など文字をかたどるように並べられた約350個の灯籠。通行人はろうそくの優しい明かりに足を止め、震災への思いを新たにしました。

我が家の人気者 あこやがさん



いつも仲良しな2人。結愛ちゃんの夢はプリキュアになることだそうです。雄賀くんは仮面ライダーのゲームに憧れているそうです。

(両親から一言)
ケンカしないで仲良く遊んでください♡

右) 清藤 ^{ゆめ}結愛ちゃん(5歳5カ月)

左) ^{ゆうが}雄賀くん(3歳7ヶ月)

愛称：ゆめちゃん、ゆうがくん
(河北) 秀さん・愛姫さんの長女、長男

ほっとひといき／編集後記

春は出会いと別れの季節といいますが、今回の取材では小軽米中、晴山中、笹渡小中の閉校という大きな別れを取材させていただきました。それぞれの地域で愛された学校。閉校式では、寂しさを隠し切れない方々が多く、思い出を語る会での児童生徒の発表では思わず、泣きそうになったりしました。しかし、別れあれば出会いあり。新生小軽米小、軽米中として、新たな絆を作りあげていってほしいですね。広報も来月号からは、担当者が変わり、新生広報がまいるようになります。お楽しみに！(関向哲志)